

板橋区防災センターの設置について

東京都板橋区総務部

防災課長 安井 賢光

1 はじめに

現在、板橋区では、来たるべき21世紀にむけて、「活力ある緑と文化のまち板橋」にふさわしい新庁舎の建設を進めており、昭和62年1月には完成の予定である。この新庁舎の3階に、防災課の執務室と隣接し、防災センターが設置される。この防災センターは、新庁舎建設事業の一環として位置づけられ、「板橋区の防災活動の拠点とし、区民の生命と財産の安全を確保するため、防災活動に必要な諸設備を整備し、あわせて防災思想の普及に努める」ことを理念とするものであり、昭和62年2月には稼働の予定である。

2 防災センターの主たる機能

防災対策を大別すると、いわゆるソフト面の対策とハード面の対策とに分けられる。前者は、区民、職員の防災意識の啓発、防災活動組織の体系的整備、さらにはそれらを支援する情報の収集・活用システムの整備がその主なものである。後者は、建物の不燃化・耐震化、河川・堤防の整備等の防災都市づくりがその主なものである。

防災センターは、これらの対策のうち、ソフト面の対策をカバーするものであり、次の3つが基本的な機能である。

(1) 防災情報を一元的に収集・管理し、迅速かつ確実にそれらを必要とする関係者に提供する。

(2) 防災関係機関相互における円滑な情報交換を支援する。

(3) 区民や職員の防災意識啓発のシンボルとする。

以上3つの基本的な機能を果たすために、様々なシステムを導入する予定であるが、以下にその概要について示す。

3 防災センターへの導入予定システム

(1) システムの全体構成

本システムは、防災センターを中心とし、センターと有線又は無線により接続される区役所各機関、東京都、警察、消防その他の防災関連機関等の中で運用されるものである。図1が、その全体構成図であり、図2が、防災センターに導入されるシステムの一覧である。

(2) システムの特徴

本システムには次の特徴がある。

① 地図をもとにした情報管理と表示

例えば、被害情報を白地図（区界、町丁目界、地番界等を表示）に重ねあわせた形でグラフィック CRT、ビデオプロジェクター・スクリーンに表示する。

② 被害情報第一報の無線によるデジタルデータ伝送

被害情報第一報では、被害の正確な定量情報より、むしろ場所の特定と、どういう種類の被害かを明らかにすることが重要である。

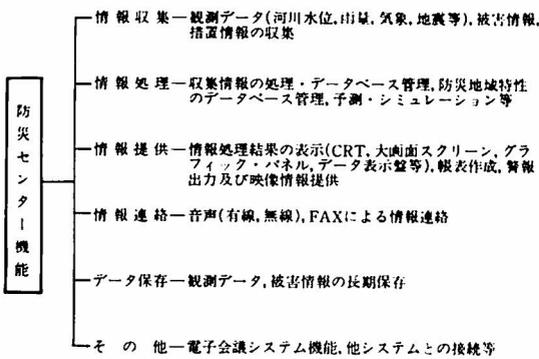


図-3 システムの機能概要

(3) システムの機能

防災センターシステムの機能の概略は、図3に示すとおりであるが、ここではセンターの中核であり、主として情報処理、情報提供、データ保存を行う防災情報処理システムについて、そのソフトウェア機能の概要を以下に示すこととする。

① 防災地域特性情報ソフトウェア

板橋区の防災に係る以下の地域特性情報の生成、表示等の機能を実現するソフトウェアである。

② 被害情報ソフトウェア

災害時において、以下に示す各種被害情報の収集、集計、表示等の機能を実現するソフトウェアである。

- ・ 人的被害：死亡、不明、負傷
- ・ 建物被害：床上、床下浸水等
- ・ 土木施設被害：道路、河川等
- ・ ライフライン被害：停電、断水等

③ 応急措置情報ソフトウェア

災害時において、以下の各種応急措置情報の収集、集計、表示等の機能を実現するソフトウェアである。

- ・ 本部運営状況
- ・ 職員参集状況

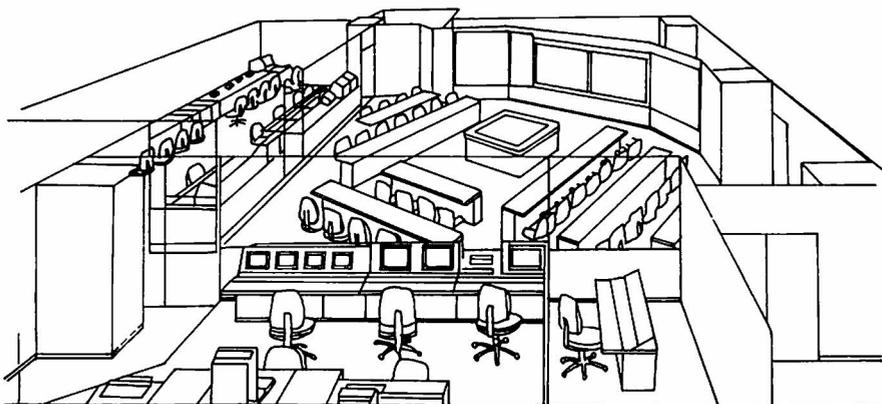


図-4 防災センター完成予想図

- ・避難勧告指示状況
- ・避難所運営状況
- ・医療救護状況
- ・水防活動状況等

④ 雨量・水位等常時監視ソフトウェア

平常時、災害時を問わず、以下の各種観測情報の収集、集計、表示等の機能を実現するソフトウェアである。

- ・雨量状況
- ・水位状況
- ・気象状況
- ・浸水状況等

⑤ 予測シミュレーションソフトウェア

延焼、浸水、避難に係る状況をシミュレーションし、危険地域、避難の方法等を予測することにより、防災計画や応急対策に活用することを目的とするソフトウェアである。

⑥ その他

職員の訓練実習をサポートするソフトウェア、区民、職員の防災意識啓発のためのソフトウェア、及び各種防災情報を一元的に管理・蓄積する防災情報データベースを備える。

また、災害時等のバックアップシステムとして、非常用電源設備、耐震・免震装置を設置し、コンピュータの停止を防止する。

4 防災センターのレイアウト

センターのレイアウトについては、以下の考え方のもとに検討した。

- (1) 調和のとれたレイアウト
- (2) 人間中心のレイアウト
- (3) 先進的、個性的なレイアウト
- (4) 区民等の防災意識啓発、各種会議への利用など、対外機能を考慮したレイアウト

これらを考慮した結果が、図4に示す防災

センター完成予想図である。

6 おわりに

防災センター構築にむけて、現在、これまでに述べた各種システムの開発や工事等を進めているところである。本センターに導入予定のシステムや諸設備は、平常時、災害時を問わず、防災関係機関相互の円滑な業務遂行にとって大きな力となるものであるが、より充実した防災行政の実現にむけて、センターシステムの更なる整備・充実をはかることはもちろん、災害時において、区民や職員が、迅速・的確に行動できる組織態勢づくりを含めた総合的な防災対策を推進していくことが、今後の課題である。

